

## ビジネスマンであること

株式会社ニコン

光学本部第一開発部第一設計課

沖田 賢哉

### フレッシュマン?抱負を語る

「抱負」— そのようなことを考えたのは就職活動ぶりでしょうか。私は、2015年に精密科学・応用物理学専攻を卒業し、株式会社ニコンに就職いたしました。社会人歴は4年目となります。すでに会社では、中堅に足を突っ込んでおり、フレッシュと呼ばれることはほとんどありません。そんな私が今掲げる抱負は「技術者としてだけでなく、ビジネスマンとして、世のニーズを的確に捉えて、製品開発できる人材になる。」です。今回は、初心に帰り、会社での3年間を振り返りながら、その理由を語りたいと思います。自分語りには終始することお許しください。

### カメラだけじゃない

まず、この場を借りてニコンに対して少なくない方が抱えている誤解を解きます。ニコンはカメラだけのメーカーではありません。カメラのビジネスが会社を支えているという点では、そのイメージは正しいのですが、ニコンの最も得意とすることはレンズ技術です。レンズの光学設計はもちろんのこと、物は原料の粉末から自社で一貫して作り上げます。実はカメラはそのアウトプットの1つに過ぎません。ニコンではカメラ以外にヘルスケア製品、顕微鏡、産業機器、露光装置などのレンズを使ったビジネスを展開しています。私は学生時代にニコンとの共同研究というキッカケからこの事実を知りました。さらに研究を通して、ニコンは他社が持ち合わせていない高い技術力を持っていると知り、技術者を志すならばこれ程の会社はないと感じ就職を決めました。

### 好きこそ物の上手なれ

ニコンはなぜ高度な技術を有しているのか。その答えは間違いなく「技術者を大事にする社風」です。私が普段から上司から言われていることは、「7割の時間を業務に使って、3割は好きなことをやって下さい。」です。もちろん、3割遊んででもいいぞという意味ではありません。技術系社員の方は空いた時間に、学会、セミナー、研修への参加に費やしたり、学術書で勉強したり、はたまた新しいビジネスを考えてみたり、と時間を有効に利用しています。自分を成長させる時間の使い方をしていれば怒られること

はありません。また、それがキッカケで別の仕事をしてみたいと思った場合、意外とすんなりと希望が受け入れられ異動させてくれるケースも多いです。「好きこそ物の上手なれ。」これほどニコンを表した言葉は無く、技術者は自分の実力が発揮できる分野で会社に貢献できるのです。

### ビジネスの難しさ

ニコンは技術力があっても、ビジネスで他社に負けることは良くあります。私が考えるに、その理由は「独りよがりな技術力でお客様により添えていないから。」です。ニコンの歴史を振り返ると他社が真似出来ない性能の装置を開発して成長してきました。しかし新しいビジネスが次々と生まれる現代においては、技術力だけでなく、世の中の新しいニーズを発掘することが重要になります。ニコンにはそのような芸当ができる人材が少なく、経営層も新規投資判断に頭を悩ませているように見えます。ビジネスとはお客様に価値を提供して初めて成立するという原則を忘れてはなりません。

### 私がやるべきこと

以上のことから私がニコンでやるべきことは、技術の探求だけでなく、ビジネスとして成立する製品を発売することです。会社は技術者を大切に、技術を育ててきました。しかし、その結果として、市場要求に比べて、オーバースペックな装置を販売したり、過去の蓄積に抗えず、ブレイクスルーする機会を逃したり、することは少なくありませんでした。そのような失敗を繰り返さないためにも、技術だけに拘らず、視野を広く持ち、世の中に耳を傾けることが大切なのです。それ故に、抱負は先述の通りとさせていただきます。

これから私はこの抱負を胸に後悔の無いよう仕事に邁進します。これを読んで頂いた皆様、私の名前をどこかで見かけましたら、陰ながら応援して頂けたら幸いです。

(応用自然 平成25年卒 精密・応物 27年前期)